

# 学生議会

## 質問通告書一覧

### 令和7年8月20日

#### 【発言の順番】

- 1番 福地中学校 石川 咲理さん  
「地域とともにつくる学校」
- 2番 平坂中学校 小林 葉奈さん  
「避難所運営訓練の実践について」
- 3番 にしお特別支援学校 小野内 煌斗さん  
「私たちの進路」
- 4番 西尾中学校 小倉 光也さん  
「ごみについてみんなで考え、協力し合うために」
- 5番 鶴城中学校 杉江 莉子さん  
「地域で取り組む生涯スポーツ」
- 6番 一色中学校 岡田 希将さん  
「子供が楽しめる地元になりたい」
- 7番 佐久島しおさい学校 坂井 千波乃さん  
「佐久島の竹問題について」
- 8番 吉良中学校 相川 こおさん  
「西尾市在住の外国人との共生」
- 9番 東部中学校 富田 暖琉さん  
「部活動の地域移行に向けての整備」
- 10番 幡豆中学校 鈴木 莉子さん  
「帰ってきたい街にするために」
- 11番 寺津中学校 木村 あかりさん  
「市民の充実した生活を目指して」

## 学生議会 質問通告書

【学校名：福地中学校】

ふりがな 氏 名	いしかわ ひかり 石川 暁理	学年等	3年3組
-------------	-------------------	-----	------

テーマ	地域とともにつくる学校
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>西尾市が令和7年度施政方針に掲げる主な事業に、「中学校の部活動指導員を平日にも導入、スポーツ協会や文化協会などと連携して段階的な部活動の地域移行を推進」が掲げられています。</p> <p>私は剣道部に所属しています。剣道部では地域の方から指導を受けるほか、稽古会などで高校生から私の祖父母の世代の方まで、さまざまな年齢の方から指導を受けています。さまざまな世代の経験豊富な方からご指導いただくことで、上達が早くなり、多様な考えも知ることができるので、とても貴重な経験を積むことができていると感じています。</p> <p>最近のニュースでは、教員の人数が不足している、地域で孤立してしまう高齢者がいる、地域住民のつながりが希薄化しているということをよく耳にしますが、剣道部のように地域の方々と学校教育で連携してはどうでしょうか。地域と学校が連携するメリットは3つあります。</p> <p>1つ目として、生徒は学校教育の中では教わることができない知識や文化的な感性などに触れることができます。</p> <p>2つ目として、地域の方は学校と地域コミュニティのつながりの中で活躍する機会ができ、生きがいや居場所づくりにもつながります。</p> <p>3つ目として、地域ごとに特色が出て、市の活性化にもつながります。</p> <p>以上のことを踏まえて、質問します。</p>
<p>質 問</p>	<p>1 地域と学校の連携状況はどのようなのですか。</p> <p><b>【再質問】</b></p> <p>今後、地域と学校が連携するような取り組みを市が推進していくことはありますか。</p> <p>2 施政方針に掲げる主な事業の「中学校の部活動指導員を平日にも導入、スポーツ協会や文化協会などと連携して段階的な部活動の地域移行を推進」の進捗状況はどのようなのですか。</p>

**【再質問】**

指導者等が見つからなかった場合、スポーツをする機会がなくなることにつながりませんか。

## 学生議会 質問通告書

【学校名：平坂中学校】

ふりがな 氏 名	こばやし はな 小林 葉奈	学年等	3年7組
-------------	------------------	-----	------

テーマ	避難所運営訓練の実践について
現状や課題 意見・提案事項	<p>私たちの学校では、年に数回、地震津波避難訓練をしています。しかし、本当に災害が起きたときに、訓練したことが役立つのかというと、私は疑問に感じてしまいます。</p> <p>なぜなら避難訓練は天候によって中止することがあったり、避難ルートがあらかじめ決まっていることがあったりするからです。実際の災害は良い天気の日起きるとは限らず、訓練した避難ルートが通れないということも起こりえると思います。</p> <p>避難所生活についても、想像することができません。平坂地区は人口が年々増加する傾向にあります。現在、地震や津波における避難所として指定されているのは平坂地区は4か所のみで、平坂中学校のアリーナも1,000人入るといっばいだからです。4か所の避難所で何日間も共同生活できるとは、とても考えづらいです。</p> <p>そのため、私は西尾市全体で2つの防災訓練に取り組む必要があると考えます。</p> <p>1つ目は、「避難所や避難場所への移動訓練」です。実際に地震が起きたとき、パニックにならず、臨機応変に対応するためには、様々な状況を想定しながら、多くの市民が同時に避難するという経験を積むことが大切だと思います。</p> <p>2つ目は、避難所での生活訓練です。実際にダンボールの仕切りを作ってみたり、自分の家族のスペースに荷物を置いたりして、どのような状態になるのかを試してみます。避難所生活について家庭で話し合うことはできますが、実際の避難所生活はなかなか体験できません。実際の訓練で問題点と課題が見え、意識も高まると思います。</p> <p>そこで、質問と提案をします。</p>

質 問	<p>1 平坂地区の4か所の避難所は、何人が何日間避難することを想定していますか。</p> <p>【再質問】</p> <p>避難所が避難者でいっぱいになってしまった場合、避難所に入れない人はどこに避難すればよいのでしょうか。</p> <p>2 市民が災害時に臨機応変な行動を取ることができるように、あらかじめ決められた訓練を行うのではなく、様々な悪条件に対応できるように考える訓練を行いませんか。</p> <p>3 避難訓練で避難所に多くの人が集まれば、人でいっぱいになった避難所がどんな状況になるのか、リアルに体感することができます。そこで、市の総合防災訓練で「避難所や避難場所への移動訓練」や「避難所での生活訓練」を中学校区単位で実施しませんか。</p>
-----	---

## 学生議会 質問通告書

【学校名：にしお特別支援学校】

ふりがな 氏 名	おのうち あきと 小野内 煌斗	学年等	3年1組
-------------	--------------------	-----	------

テーマ	私たちの進路
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>私たちは、総合的な学習の時間で職業について調べ、自分たちの将来について学んでいます。その学習を通して、次のことを考えました。</p> <p>私は立つことができないので車椅子を使っています。手の力も弱いので、腕を上にあげることは苦手ですが、将来、仕事をしたいと思っています。どういう仕事ができるのか先輩たちの進路を参考にしようと思い調べました。肢体不自由の障害がある先輩たちは、軽作業を行う作業所に通うか、生活介護施設で介護を受けながら余暇活動を行うことが多いことが分かりました。</p> <p>私は就労継続支援 B 型という福祉サービスを使い、作業所で軽作業をしながらイラストの勉強をしたいと思っています。西尾市には、軽作業を行う就労継続支援 B 型のサービスを利用できる作業所は 19 か所あり、そのうち肢体不自由の人が利用できる所は 11 か所です。そのうち、トイレの介助をしてもらえるかもしれないところは 4 か所でした。トイレの介助は必ずしてもらえるわけではなく、要相談ということでした。進路指導の先生に聞いてみましたが、トイレ介助が受けられる作業所はどの市町も少ないということでした。私はとても驚き、大変残念に思いました。</p> <p>働くことを考えている私たち中学部の生徒でトイレ介助が必要な生徒は、6 人中 5 人います。働きたいと思っている生徒の多くがトイレ介助を必要としています。在宅で働くという方法もありますが、私は社会に出て、多くの人と関わりながら働きたいのです。</p> <p>私には障害がありますが、自分にできることを活かして働きたいと思っています。そのためには、もっと自分一人でできることを増やし、自立に向けて努力することが必要だと思っています。私も頑張るので、どうか、私たちの働ける場所を増やしてください。</p> <p>そこで質問します。</p>

質 問	<p>1 車いすを利用する人の働ける場所を増やすための取組はされていますか。また、それは、どのようなものですか。</p> <p>2 将来、私たちが社会に出て働くために、身に付けておくべきよい力は何ですか。</p>
-----	--

## 学生議会 質問通告書

【学校名：西尾中学校】

ふりがな 氏 名	おぐら こうや 小倉 光也	学年等	3年7組
-------------	------------------	-----	------

テーマ	ごみについてみんなで考え、協力し合うために
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>僕が住んでいるのは、室場地区です。室場地区は自然が豊かで、夏には蛍が舞い、川や用水路、田んぼには生き物がたくさんいます。また、お盆には盆踊りなど地域の行事が多くあり、小さい頃からとても楽しみにしてきました。</p> <p>僕はそんな室場地区が大好きですが、登下校など自転車で移動するとき、たばこの吸い殻やビニール袋、プラ容器などのごみが、とても目につきます。</p> <p>僕はサッカーが大好きで、部活動ではサッカー部のキャプテンを務めています。サッカーワールドカップの試合後、日本人サポーターが自主的にごみ拾いする姿は、日本の文化として海外で称賛されています。僕は西尾市の町をもっときれいで住みやすい町にするため、自分のできることを考えていきたいと思います。また、「にしお未来創造ビジョン」には「みんなの力で魅力を創造」という取組が掲げられています。行政には、未来につながる活動を行ってほしいと思っています。</p> <p>そこで質問と提案をします。</p>
<p>質 問</p>	<p>1 西尾市内では、まちの清掃活動が定期的に行われていますか。</p> <p>【再質問】</p> <p>僕は登下校で大きな道路を通りますが、そこではお弁当のプラ容器やペットボトルなどのポイ捨てが目立ちます。その場所は、誰が清掃活動をしていますか。</p> <p>2 西尾市ではたくさんのイベントが行われており、多くの人たちが楽しんでいます。人が集まれば、ごみは出ます。僕は西尾祇園祭に参加したとき、ごみ箱から溢れ出たごみを見て、とても残念に思いました。</p> <p>西尾祇園祭等の大きなイベントでごみを拾うボランティアを募り、清掃活動を行いませんか。そうすることで、みんなが気持ち良く、さらに楽しめるイベントになるのではないのでしょうか。</p> <p>【再質問】</p> <p>西尾市では1人1日当たりの家庭系ごみの排出量が令和4年度まで県内で一番多かったことを「広報にしお」を見て知りました。そこでイベント時に、リユース食器やマイボトル活動を導入し、ごみの量を減らす試みをしてみてはどうでしょうか。</p>



	<p>これらの活動により、市民がいろいろな角度からごみ問題を考え、自分たちの手できれいなまち・魅力的なまちをつくっていくことにつながるのではないのでしょうか。</p>
--	---

## 学生議会 質問通告書

【学校名：鶴城中学校】

ふりがな 氏 名	すぎえ りこ 杉江 莉子	学年等	3年3組
-------------	-----------------	-----	------

テーマ	地域で取り組む生涯スポーツ
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>私は小学校1年生のときに柔道を始め、今は柔道部に所属し、仲間とともに日々切磋琢磨しています。今年度は県大会出場を目標に掲げ、鶴城体育館の道場で顧問の先生や地域の方の指導のもと、今も厳しい練習に取り組んでいます。鶴城中の柔道部は、恵まれた環境の中で練習することができていると思います。</p> <p>鶴城中学校には私たちのように部活動でスポーツをする生徒がいる一方で、部活動以外でソフトテニスやバスケットボール、スケートボードなどのスポーツに取り組む生徒もいます。彼らや中学・高校を卒業した人はどのような環境でスポーツをしているのでしょうか。私たちの柔道部は道場で先生や地域の方の指導のもと、仲間とともに練習に励むことができます。学校の部活動に入っていない生徒や学校を卒業した人も私たちのように指導を受けながら、スポーツを行える環境があれば、スポーツを続けていきやすいのではないかと思います。</p> <p>そこで提案と質問します。</p>
質 問	<p>1 地域や小中学校の体育館や柔道場に冷暖房を設置したり、碧南市の碧南スケートボードパークのような施設を整備したりして、地域でスポーツに取り組む気運を高めていきませんか。</p> <p>【再質問】</p> <p>市が主体的に地域で行われているスポーツを周知することにより活動を盛り上げ、さまざまな世代の市民がスポーツを通して関わり合える地域づくりを進めませんか。</p> <p>2 市が公認している地域スポーツクラブは何団体ありますか。また、どのような世代の方が参加していますか。</p>

	<p>3 「にしお未来創造ビジョン」では、「新たな活動の創造」戦略の中で「スポーツを核とした市民の健康づくり」を掲げています。どのようなことを実施していますか。</p>
--	--

## 学生議会 質問通告書

【学校名：一色中学校】

ふりがな 氏 名	おかだ きと 岡田 希将	学年等	3年3組
-------------	-----------------	-----	------

テーマ	子供が楽しめる地元をしたい
現状や課題  意見・提案事項	<p>「にしお未来創造ビジョン」を見ました。プロジェクトのひとつ、「いつまでも住み続けたいまち」に「市民の生活をより良いものにし、住み続けられるようにする」とあります。具体的には高速大容量通信などのテクノロジーを適切に地域社会に実装するなどが書かれています。確かに通信環境の整備などで生活が便利になることは大切ですが、僕たち子供にとって「いつまでも住み続けたいまち」のイメージとは、違うのではないかと感じました。子供にとって「いつまでも住み続けたいまち」とは、僕なりに考えた結果、「住んでいて楽しいまち」だと思います。僕は地元である一色町を含む西尾市が、もっと子供に優しくなれば良いと思っていますし、西尾市内の小、中学生、高校生が今よりももっと「楽しい」と思えるようなまちにしたいです。</p> <p>そこで、2つ提案をします。</p> <p>1つ目は、子供が楽しめる施設を増やすことです。市内の子供が、誰でも、どこからでも来やすく子供たちだけでも買い物ができる商業施設が増えたら良いと思います。現在、西尾市内には子供たちが楽しめる施設が少ないように感じます。既存の施設だけでなく、子供たちだけで遊べる施設が増えると、子供にとって住んでいて楽しいまちになると考えます。</p> <p>2つ目は、そのような施設にアクセスしやすい公共交通機関の整備です。名鉄電車や六万石くるりんバス、名鉄東部交通バスなど既存の公共交通は、やはり場所や時間に制限が多いように感じます。事実、僕の地元の一色町では車を使った移動が圧倒的に多く、子供たちだけの移動には制限があります。子供たちだけでも利用可能な公共交通機関の整備が、施設の利用頻度を上げ、子供たちにとっても「住んでいて楽しいまち」に繋がると考えます。</p> <p>そこで質問します。</p>
質 問	1 今までに子供たちだけでも買い物ができるイオンモールやららぽーとのような大型商業施設を造る計画はありましたか。また、

	<p>そのような施設を造るうえで障害になっているものがあるとするならば、どのようなことが障害になっていますか。</p> <p>2 子供たちが遊べる施設に、その施設と地域を直結する子供専用の交通手段を考えませんか。</p> <p>【再質問】既存の公共交通を時間や場所の制約がなく、子どもにも使いやすくできないか。</p>
--	---

## 学生議会 質問通告書

【学校名：佐久島しおさい学校】

ふりがな 氏 名	さかい ちほの 坂井 千波乃	学年等	3年1組
-------------	-------------------	-----	------

テーマ	佐久島の竹問題について
現状や課題 意見・提案事項	<p>私は佐久島に移住し、佐久島しおさい学校に通っています。総合的な学習の時間には、島の竹の活用について考え活動しています。活動する中で、島の森林では、今は昔と比べて竹が増えていることを知りました。竹は繁殖力が強く、放置すれば、どんどん増えてしまいますが、島民の高齢化が進み、竹林を十分に管理できていないのが現状です。このまま管理が不十分な状態が続けば、島の森林は荒れ、土砂災害の原因にもなってしまいます。</p> <p>竹林の整備が進まない理由としては、人手不足に加え、山の土地の所有者がはっきりしない場合もあること、放置林の危険性や伐採後の竹の活用性の認知度の低さなどが挙げられます。そこで、市が中心となり、私たち佐久島しおさい学校の生徒、島民、ボランティアが協力をして、山道や、竹が侵食している畑、災害時の避難経路を中心に、竹の伐採活動を行いませんか。島や自然に興味のある人をボランティアとして募り、定期的に伐採活動を続けることができれば、竹の侵食を抑えることができ、島の景観を保つことができます。また、島外へ広く広報活動を行うことで、島の美しい景観とそれを維持する必要性の両方を知っていただく機会にもなります。</p> <p>なお、伐採した竹については、竹チップや竹マルチなどに加工すれば、島で持続的に活用することができ、その認知度も向上させたいです。そこで質問します。</p>
質 問	<p>1 これまで、佐久島で、島民やボランティア、学生、生徒などが協力して竹林を整備する活動などを行ったことはありますか。</p> <p>2 竹害や伐採後の竹の活用法には、どのようなものがあり、その認知度を上げるための対策はしていますか。また、佐久島の活動を市の他の地域へ広げませんか。</p>

## 学生議会 質問通告書

【学校名：吉良中学校】

ふりがな 氏 名	あいかわ 相川 こお	学年等	3年5組
-------------	---------------	-----	------

テーマ	西尾市在住の外国人との共生
現状や課題 意見・提案事項	<p>最近、西尾市内でも外国人が増え、地域の多様性が広がっていることを感じます。私の周りにも、外国人の友達が増えていて、出会いが広がっているのはとても良いことだと思っています。</p> <p>その反面、それぞれの地区や町内などのルールがわからずにいる外国人や、言語がわからずルールが伝えられない地域住民が、お互いに快適に暮らすことができていると感じていません。私の通う塾の近くの道路では、夜に何人かで集まって大きな音を出していることがあります。「どうせ外国人だろう」と決めつけて考える日本人の声を聞くこともあり、何かを変えていかなければいけないのではと考えています。そこで、西尾市在住の外国人への偏見が少なくなるように、日本のルールやマナーを知ってもらい、お互いを理解し合うための機会があったらいいと思います。</p> <p>そこで質問します。</p> <p>(質問1へ)</p> <p>次に日本に来たばかりの外国人は、地震などの災害を経験したことがない人もいます。もし今後、巨大地震や津波が起きた時に、パニックになってしまったり、言語がわからなくて、近隣住民や避難先でコミュニケーションがとれないため必要な情報が得られず、不自由な生活を強いられてしまうかもしれません。</p> <p>そこで質問します。</p> <p>(質問2へ)</p>
質 問	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 日本人から、外国人のことで困っていると相談を受けたことがありますか。受けたことがあれば、どのような相談が多いですか。また、どのように対応していますか。</li> <li>2 西尾市に住んでいる日本人と外国人で、意見を言うなど話をする機会をつくりませんか。</li> <li>3 現在、西尾市在住の外国人への防災対策は、どのようなことをしていますか。多言語で書かれた防災が学べるパンフレットなどは配られていますか。</li> </ol>

## 学生議会 質問通告書

【学校名：東部中学校】

ふりがな 氏 名	とみた あたる 富田 暖琉	学年等	3年B組
-------------	------------------	-----	------

テーマ	部活動の地域移行に向けての整備
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>私はオーケストラ部に所属し、演奏会に向けて、日々ヴァイオリンの練習に励んでいます。仲間と息を合わせ、全員で曲をつくりあげる部活動は、中学生の今だからこそできる最高の時間だと思います。しかし、残念なことに部活動の練習日や練習時間は年々少なくなっており、十分な練習時間がありません。それを補うために自宅で練習をすることもありますが、周りの家や家族に迷惑をかけないように何かと気を遣い、思い切って取り組むことができません。また、私たちの部活動には弦楽器専門の先生がいません。そのため、自分たちでどのような練習をしたらよいか試行錯誤を重ねていますが、時間が足りません。</p> <p>他市の友達から部活動のない日は地域のクラブに参加しているという話を聞きました。地域の指導員の先生が教えにきてくれる部活動もあり、部活動の時間が少なくなる一方で、地域への移行が進んでいるそうです。その話を聞き、私は西尾市の状況はどうなっているのか興味をもちました。調べてみると西尾市では、「にしおチャレンジみらい塾」や「スポーツクラブ・教室」が開催されていることを知りました。西尾市にも地域移行が進みつつあることはわかりましたが、中学生の私にとって開催場所が遠く、私が求めている部活動の代わりになるような内容ではないと感じました。東部中学校にも部活動によっては地域の方が教えにきてくださっているとありますが、すべての部活動ではありません。</p> <p>そこで、西尾市でも早急に地域移行が進むように、市が主体となって、指導員と児童・生徒をつなぎ小学生や私たち中学生が参加しやすく、部活動の代わりになるような地域クラブや教室などの環境を整えて欲しいです。</p> <p>そこで質問します。</p>
質 問	<p>1 今までに市民を対象として、部活動の指導員やスポーツクラブなどの設置に向けた指導者の募集をしたことはありますか。ま</p>



	<p>た、今後、より一層地域移行を進めるために指導者を募集していく計画はありますか。</p> <p>2 今後、部活動の代わりになるように、すでに開催している「にしおチャレンジみらい塾」や「スポーツクラブ・教室」の設置数を増やしていくことは考えていますか。</p>
--	---

## 学生議会 質問通告書

【学校名：幡豆中学校】

ふりがな 氏名	すずき りこ 鈴木 莉子	学年等	3年1組
------------	-----------------	-----	------

テーマ	帰ってきたい街にするために
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>私の住む幡豆町は、海と山に囲まれた自然豊かなところです。にしがま線の存続が決まったことで、進学時の交通手段に心配することがなくなり、安心しています。私は市外の学校に進学する可能性があります。また、私の他に市外の学校への進学を考えている同級生もいます。進学と同時に、将来どこで就職し、生活するかを考えるようになりました。</p> <p>西尾市には、うなぎやあさりなどの全国に誇れる特産物が多くあり、今までの総合学習を通じて、その魅力を学んできました。しかし、自分が西尾市の産業に携わるイメージがもてませんでした。もし、未来を担う人材が市外に流出することになれば、西尾の産業の発展や持続の危機ではないかと考えました。実際に、「にしお未来創造ビジョン」によると令和14年に総人口・生産年齢人口が最大となり、その後は減少に転じると予測されています。少子高齢化による人口減少という課題を抱えるまちにとって、関係人口の増加を図ることは、地域の活性化につながると私は考えます。そこで、「にしお未来創造ビジョン」にも記載のあるグリーンツーリズムやブルーツーリズムなどのカラフルツーリズム事業に加え、西尾市の魅力や強みを生かした「アグリマリンツーリズム（農業+海洋+観光）事業」を実施してみてもはいかがでしょうか。モデルコースを作り、農業や漁業体験だけでなく、観光産業として発展させることができれば、より魅力的な西尾市になるのではないのでしょうか。SNSを通じて西尾の観光産業を広げたり、宿泊地やこどもの国などの施設、道路などを整備したりすることで複数の産業が成長すると思います。私は将来各地区の産業などが体験できるツアーを企画し、その魅力を発信する仕事に就きたいです。また、ガイドのようなこともしたいです。一度は市外に転出して「ぜひ西尾で働きたい！」と、私のように考える人が増えれば、西尾市出身者だけでなく、多くの人が仕事を求めて、西尾市に定住するのではないかと考えました。</p> <p>そこで質問します。</p>
質 問	<p>1 アグリマリンツーリズム事業を取り入れることで、市の魅力が発信できると思いますが、市はどのように考えていますか。</p>

	<p>2 西尾市で多くの方が働いてもらうような取り組みとして、何がありますか。</p> <p>3 市外へ出た若者が地元に戻りたくなるように、短期間で仕事を体験できるアルバイトなどの取り組みを行ってはどうでしょうか。</p> <p>4 西三河農協が開催している「いちごスクール」以外の取り組みや何か考え等ありますか。</p>
--	---

## 学生議会 質問通告書

【学校名：寺津中学校】

ふりがな 氏名	きむら 木村 あかり	学年等	3年2組
------------	---------------	-----	------

テーマ	市民の充実した生活を目指して
<p>現状や課題</p> <p>意見・提案事項</p>	<p>私は、西尾市が子どもも大人も充実した生活を送れるまちになってほしいと願っています。そこで2つ提案します。</p> <p>1つ目は交通機関についてです。西尾市にはバスや電車などの移動手段はあるものの、バスは運行間隔が長く、1時間に1本程度しかありません。私には高校生の兄がおり、毎朝、バスと電車を使って通学していますが、毎日のように「運行本数が増えたらなあ。ダイヤが変わったらなあ。」と言っています。今年4月からダイヤが変わったため、乗客が多かったり、道路が混んでいたりするとバスの到着が遅れてしまい、電車に乗り換えるとき走らないと間に合わないことがあるそうです。現在、通勤・通学時間の運行は1時間に1本しかありません。この通勤・通学の時間帯だけでも運行本数を増やすことができれば、利用者の利便性が高まると思います。令和7年度の施政方針に掲げる主な事業のなかには、「一色地区での相乗りタクシーの運行開始」とありますが、中高生がタクシーを利用することは難しいです。車などの移動手段を持たない子どもや高齢者も自由に移動できる環境を作ってほしいです。</p> <p>2つ目は運動施設です。「にしお未来創造ビジョン」の「新たな活動の創造」戦略には「スポーツを核とした市民の健康づくり」が掲げられています。私は、マラソン大会の開催やVリーグの試合などのイベントでスポーツを盛り上げることも大事だと思いますが、市民が運動したいときに運動できる場所があることも大事だと思います。現在市内には、市の管理する体育館が4つあり、グラウンドやテニスコートも複数ありますが、私の住んでいる寺津からは距離もあり、利用がしづらいです。学校でも「中学校の体育館やテニスコートが使えたらいいのに」という声をよく聞きます。現状、学校の体育館は団体で利用登録をした人のみが利用でき、テニスコートは利用できません。もし学校の施設が誰でも使えるようになれば、各中学校区に1ヶ所以上は運動できる場所があることになります。</p> <p>そこで質問します。</p>
<p>質問</p>	<p>1 名鉄沿線から離れた地域の利便性を高めるため、交通機関の対策を考えませんか。</p> <p>【再質問】通勤・通学時間のバスの運行本数を増やしませんか。</p> <p>2 東京都の中央区や渋谷区では、学校の老朽化に伴う建替に際して、地域住民が利用できる学校施設にするように計画しているそうです。西尾市で学校校舎を建て替えるときも同様の対応を計画しませんか。</p> <p>【再質問】建替予定のない学校も、学校施設の一部を市が管理して地域住民が利用できるようにするという計画はありますか。</p>